



利尻山と風車

問 風力発電会社から納入される税収の4分の1相当をふるさと創生基金に積み立てるといふ件はその後どうなったのか。

答 今後常任委員会などで報告する。

問 町の税収入となる地方消費税分は幾らか。

答 地方消費税の内訳は消費税5%の内1%が地方消費税交付金として交付される。その積算根拠は国勢調査の人口、事業所統計等の従業者数などによって交付される。

問 今日、再生エネルギーが注目されているが、町として更なる増設計画、又は他社からの参入計画は無いのか。

答 増設計画はない。北

電では新規に3万kWの再生可能エネルギー買取を募集しており、他の業者が浜里地区での事業化を計画、応募している。

▽意見書

「森林・林業・木材産業施策の積極的な展開について」

森林は二酸化炭素の吸収源として期待が寄せられている。我が国は、化石燃料への依存度が高く、森林や木材が果たす役割がこれまでに以上に重要となっている。しかし、長引く景気の低迷は、林業・木材業に深刻な影響をもたらしている。

このような中、森林を多面的に持続し、林業の安定的発展と活性化を図るためには、森林施業の集約化、路網の整備、人材の養成等を積極的に進めるとともに、道産材の利用促進等により、森林・林業の再生を図ることが重要である。

また、東日本大震災の復興を早期に図るため、必要な木材を安定的に供給することが必要である。

平成 23 年度 決算を認定

西澤裕之氏を決算特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案通り可決されました。

一般会計・特別会計の決算額については10月号の“ほろのべの窓”でお知らせしておりますので質疑応答について掲載しております。

〈一般会計〉

◆歳出

【総務費】

(資賀委員) 職員研修まちづくり事業の内容は。

(古草主査) 職員のスキルアップを目的とし、主査以下一般職員全てを含めた全体研修2回、グループ研修3回の計5回実施。委託先は、札幌のコムズワーク。

(資賀委員) 庁舎管理の光熱水費増額の要因は。

(古草主査) 単価が上がった事と寒い時期が長かったため使用量が増えた。

(佐々木委員) 公用車の入替でハイブリットカーが2台導入されているが、今後さらに進めていくのか。

(宮古主幹) 個々の効果はあるが、車の価格が高く24年度は普通のワゴン車を購入した。

(佐々木委員) 町の中の街路灯整備を行っているが、現在白熱球を使っている。今後LED電球を使って、消費電力を下げて行く考えは。

(飯田主幹) LEDの照明器具はまだ価格が高いのが現実

実で、状況を見ながら検討する。



町立診療所前に設置のLED街灯

【衛生費】

(資賀委員) 燃料費などの単価が上がっているが公衆浴場管理費の需要額に不用額が出たのはなぜか。

(藤井主幹) 水道・下水道代が減少したため。

【農林水産費】

(資賀委員) 有害鳥獣の捕獲資格を取る勉強会を今後も続けてほしい。

(羽田主査) 宗谷の猟友会と協議し進めていきたい。